

EM菌利用で河川の浄化を

合併浄化槽を主体に／副町長



はま だ じゅんいち 議員 浜田 純一

旧南部農協の前の水門があるが、実験的にEM菌の培養液をその水門の通路より、適量落として、佐賀漁港のように河川の浄化をすすめてはどうか。

答

植田 副町長

松本 住民課長

河川の汚染の原因としては、生活様式の近代化により大きく変化したこと、また生活排水の河川への放流等が考えられる。

最近生華園の施設を改築しているが、重油の流出があり、この重油が生華園の前の川より河口の方に流れだす事故があった。この河口につながる海岸にはフノリの漁場があり、またサーファーたちも毎日サーフィンをしているが、幸い大事には至らなかった。

国の合併浄化槽への補助事

業は今後もずっと続くと思込んでいるが、現在毎年30基程度補助を出している。今後この程度の補助は可能ではないかと考えているので、今のところ河川へのEM菌の放流は考えていない。

趣味の教室開催を  
地域福祉計画で  
掘り下げたい/町長  
生涯教育

問

11月29日にあかつき館において、御荘病院の長野先生という方の認知症にかんする講演会があり、聞きに行ってきた。会場はほぼ満席で、179名の参加者があり、高齢者の方々の関心の深さがう

かがわれた。

前回、私の認知症予防としての質問に対して、町長答弁では「生きがいの創出、医療費の抑制という選択肢のひとつとして検討をしたい」ということであったが、どのように検討されたか伺いたい。

答

大西 町長

先般の議会と今回の議会で、この趣味の教室について、議員の方から具体的にあかつき館で実施したらとの提示も

あったが、私と少し認識の違いがある。私は中央に各地域のお年寄りの皆さんを集めて趣味の教室をというよりも、地域の、例えば集会所を使つたような、簡易な、あるいは足を運びやすい場所であること、の創出がまず先決であるのかなと考えている。その上でなお、それ以上に学びたいということであれば、議員ご提案のように中央の方で皆さんにお集まりいただいて専門的な教室を開くと、そういった方向性が見いだせるのかなと、そのように認識している。



佐賀地区のEM菌培養施設